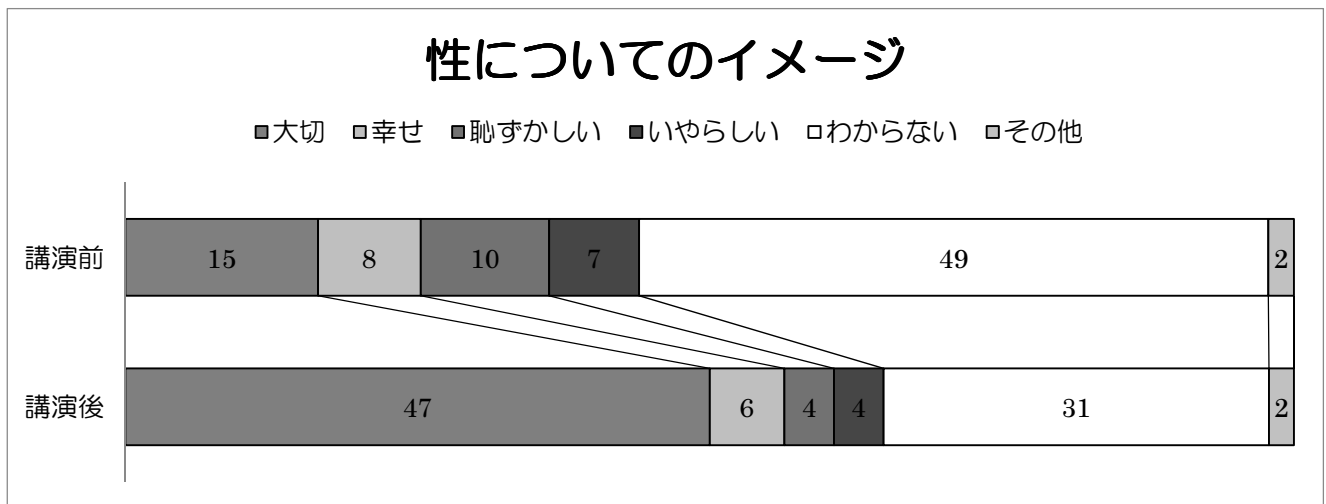




7月6日（木）に3年生を対象として思春期教室が実施されました。岐阜大学医学部附属病院の助産師さんと看護師さんより「命の大切さ」についての授業をしていただきました。命の誕生や身体と心の成長、男女の異性に対する気持ちの違い、性に関わる問題など、様々なことを学び、正しい知識と正しい情報の選択が大切であることが分かりました。



講演の前と後では、意識にも変化があり、自分や他人の性（命）が大切であると感じることができました。この時間を通して、「思春期に大切なこと」を学ぶことができました。これからも今の気持ちを忘れずに、相手の気持ちをよく考えて行動できる人になってほしいと思います。悩んだとき、困ったときはいつでも保健室に相談にきてください。



#### <生徒の感想より>

- ・男性と女性は考え方が違うと分かったので、相手の気持ちについてよく考え、性に向き合っていかなければいけないと思いました。
- ・「性」について、いやらしい、恥ずかしいと思っていたけど、未来の自分には大切なことだと感じました。
- ・「性」は人を幸せにすることもできますが、人を悲しませてしまうこともあるので、そのことをしっかり考えていきたいです。
- ・3億分の1の確率で生まれてきた自分の命を大切にしていきたいです。

## 8月25日（金）赤ちゃんふれあい体験

輪之内町保健センターで実施される10か月健診に3年生12名と参加しました。保健センターの方から10か月の赤ちゃんの発育や発達、抱き方についてお話を聞いた後、実際に健診に来ている赤ちゃんに触れ合ったり、赤ちゃんのお母さんからお話を聞いたりしました。その後、妊婦ジャケットを着用し、妊婦体験も行いました。体験を通して、育児について「すばらしい」「幸せなこと」と感じた生徒が多くいました。また、自分を育ててくれた方々に感謝の気持ちをもつこともできました。この貴重な体験をこれからの生活や将来に活かしてほしいと思います。

